

団体名		一般財団法人武蔵野市開発公社						
①	指標名	まちづくり事業の充実			目標値	まちづくり事業の展開及び既存事業のブラッシュアップ	実績値	吉祥寺デパート事業の開始、フレックスマルシェの事業内容の再構築
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	○	○	○				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①業務のボリュームの多くを占めていたビル管理業務を5月よりアウトソーシングし、まちづくりに携わるマンパワーを増やすと同時に、円滑に進められる組織の改編を行う。 ②社会情勢の変化への対応や、まち場が期待することなどに対して柔軟に事業の展開を図る。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 アウトソーシングは開始が2カ月遅れたが、的確に引き継ぎ等も行い軌道に乗せることができ、27年度より課制度を導入し、まちづくり課の増員に繋がった。また、従来、公共的な要件で使用していた、エフエビル正面のウッドデッキについて、まちの賑わい創出の観点から、民間使用に範囲を広げ、新たなイベント等の実施による集客が図れた。						
二次評価	外部化、組織改正によるまちづくり事業の体制強化について評価する。エフエビルのウッドデッキについては、イベント等による活用がなされ、まちのにぎわいにつながっている。							
②	指標名	収益基盤の安定と財政力の充実			目標値	1,341,414千円	実績値	1,344,042千円
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	100.2%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	1,330,096	1,346,788	1,323,398				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①昨年度より10カ月にわたり賃料の増額交渉を続けているが、ただちに会社が求める賃料への増額はほぼ難しい状況であるため、将来の基準となる賃料ベースを確定させるなどして、今後の数年間のトータルの中で増収が図れるような柔軟な対応も含めて協議を行った。 ②28年度に計画しているコピスの大規模リニューアルに向けては、施設運営者の三菱商事都市開発との共同プロジェクトチームを立ち上げ、情報、意思、危機管理を共有し、施設の増収増益に向けて協議を重ねた。 ③経営資金計画の精査及び経営資金調達に関して、武蔵野市と協議調整し、公社の財務基盤の安定化を図った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 賃料の交渉は引き続き続けていたが、自然増だけでは歩合賃料を引き出すことは不可能なので、28年度のリニューアル時において、どう施設の収益を向上させるかがテーマのため、三菱商事都市開発と会議体をつくり毎月、協議を重ねて新施設のMDを確立させた。懸案であった借入金返済の集中の平準化と利息負担の軽減については、市との協議調整及び、民間金融機関との折衝を重ねた結果、リファイナンスのスキームを確立させ、今後の資金計画の安定化が図れた。						
二次評価	目標達成を評価する。リニューアル計画及び投資に関する事項について、引き続き関係機関との協議調整に努められたい。							
③	指標名	長期経営計画の策定			目標値	長期経営経営計画を確定する	実績値	27年3月10日理事会承認、4月1日公表
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)			○				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①資金調達については、市と緊密な連携を取り、的確な情報の提供等により方向性を確定する。また、公社が所有する不動産の利活用の検証を行い、必要に応じて売却等の方針を決定する。 ②収益及び費用については、時代や社会情勢の変化を加味した計画にブラッシュアップし、将来にわたり確実なキャッシュ・フローとなるよう検証する。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 市及び民間金融機関からの資金によるリファイナンスにより、財政の安定化と組織の持続性が担保されたことを受け、25年度に骨子をまとめていた長期経営計画を策定し、理事及び評議員に対しては個別に説明し、十分に理解を得たうえ3月の理事会において承認が得られたので、4月に公表した。						
二次評価	長期経営計画の策定について評価する。進捗管理を行い、安定的な財政基盤の確立を図られたい。							